

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

No	事業名	事業期間	事業目的・内容	総事業費	交付金充当	事業成果・評価 ①実績・成果(定量的または定性的) ②評価・検証
1	庁舎等財産管理事業	R2.4月～6月	窓口受付カウンター、議場にアクリルパーテーションを設置し、飛沫感染防止を図った。	756,140	756,140	①手数料756,140円 アクリルパーテーション設置手数料 ②町有施設内での感染対策を実施できたことから、感染防止を図ることができた。 町有施設内でのクラスター発生件数:0件
2	災害対策事業	R2.5月～R3.3月	コロナ禍にあつて避難所の衛生環境を保つため、消毒薬等の資材を避難所に備蓄。	9,092,060	6,858,600	①消耗品費9,092,060円 マスク、消毒液、体温計、避難所対策物品等 ②避難所の感染対策を実施できたことから、感染防止を図ることができた。 避難所内でのクラスター発生件数:0件
3	若桜町地域経済変動対策資金利子補給金	R2.6月～R3.3月	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業を支援するため、基金(4,437千円)を積み立てて利子補給を継続的に行う。	9,696,821	4,816,273	①補助金378,273円(R2年度:4件)、積立金:4,438,000円(R3年度以降:19件) ②利子補給を継続的に行うため基金を積み立て、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた企業の支援を図ることができた。
4	食べて応援!若桜のご馳走キャンペーン	R2.4月～8月	コロナ禍にあつて外出自粛等に対応する企業が実施するテイクアウト事業を支援し、感染拡大防止を図った。	3,612,120	3,612,120	①補助金3,612,120円 助成事業2,838,000円(300円×9,460枚)、印刷製本事業411,510円(ポスター、チラシ印刷)、手数料60,285円(新聞折込、振込手数料)、報償費302,325円(参加店舗支援金、ポスティング謝礼) ②新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた町内飲食店の運営の一助となるとともに、町民が新型コロナに感染するリスクを軽減することができた。
5	若桜の企業応援金支給事業	R2.5月～8月	事業経営に深刻な影響が出ている町内事業者に応援金を支給。	7,707,957	7,707,957	①通信運搬費7,957円(郵送代)、交付金7,700,000円(100千円×77社) ②新型コロナウイルス感染症の影響により事業経営に深刻な影響が出ている町内事業者に応援金を支給し、経営の支援を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

6	若桜町中小企業等事業継続支援金	R2.6月～R3.3月	事業経営に深刻な影響が出ている町内事業者の事業継続を支援。	62,886,000	62,886,000	①交付金62,886,000円 200万円×14社、100万円×30社 ②国の給付金上限額を超える売上減少分を嵩上げし交付金を支給することで、新型コロナウイルス感染症の影響により事業経営に深刻な影響が出ている町内事業者の事業継続の支援を行うことができた。
7	使って応援！若桜まるごとキャンペーン	R2.5月～R3.3月	地域経済の循環・消費喚起を図るため、町内で利用できる商品券を配布。	33,308,540	33,308,540	①交付金30,442,000円(商品券精算額1,000円×30,442枚)、報酬1,112,100円・社会保険料189,746円・期末手当189,215円(事務補助者)、印刷製本費758,725円(ポスター、チラシ、商品券印刷)、通信運搬費616,754円(郵送料) ②コロナ禍で消費活動が低迷する中、町内の80以上の店舗が参加し、町民の消費喚起と経済循環により町内の経済の活性化を図ることができた。
8	若桜学園情報機器整備事業	R2.11月～R3.3月	新型コロナの影響により臨時休業等となった際も切れ目ない学習環境を提供するため、GIGAスクール構想関連事業と連携し児童生徒1人1台に端末を整備。	5,838,137	5,838,137	①備品購入費5,838,137円 タブレット端末機、タブレット保管庫、電源タップ、タイマー、キーボード ②生徒1人1台にタブレット端末の整備をすることで、新型コロナ感染症による臨時休業時の連絡手段の確保や指導等を図ることができた。
9	若桜鉄道対策事業	R2.8月～R3.3月	消毒液等設置し、駅舎内の衛生対策を行ったほか、コロナ禍による外出自粛要請により事業経営に深刻な影響が出ている若桜鉄道に対し、安定した事業継続を後押しすることを目的に運営費を支援。	4,035,430	2,035,430	①委託料4,000,000円(委託料4,000,000円×若桜町持株比率50.1%≒2,000,000円(上限額))、消耗品費35,430円(消毒液) ②コロナ禍で減少した旅客収入に対して支援を行うことにより、今後の事業継続に向けた後押しとなった。また、駅舎内の衛生対策を行い感染防止を図った。 R2決算当期損益額:△2,493千円(R1:87千円)
10	若桜鉄道観光列車ツアー誘客応援事業	R2.9月～R3.3月	観光需要を喚起するため、若桜鉄道観光列車を利用したツアー造成をする旅行者に対し経費の一部を助成。	1,564,200	783,664	①補助金1,564,200円 (55,000円×22件+50,600円×7件)×若桜町持株比率50.1% ②新型コロナウイルス感染症により観光需要が低迷し、集客減少により収益の減少が懸念される中、観光列車貸切プランの基本料金の一部を助成することにより、誘客促進及び事業経営の安定化に寄与した。 ツアー実施件数:29件

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

11	バス運行事業	R2.6月～R3.3月	バスターミナルの衛生対策やコロナ禍により事業経営に深刻な影響が出ている事業者を支援し路線維持を図った。	1,495,564	1,495,564	①消耗品費38,704円(消毒液)、備品購入費59,400円(空気清浄機)、補助金1,397,460円 ②コロナ禍により事業経営に影響が生じている交通事業者に対し支援を行うことにより、経営安定化を図ることに寄与した。また、町有施設内での感染対策を実施できたことから、感染防止を図ることができた。
12	消費者行政相談事業	R2.11月	法律相談・行政相談等面談時の感染拡大防止のため、リモートで相談業務に対応。	44,000	44,000	①備品購入費44,000円 カメラ、ヘッドホン、無線機器 ②コロナ禍による対面での相談が困難な中、リモート相談体制を構築したことにより、消費者被害を防ぐことに寄与した。 ・消費者行政相談実施回数 R2:13件、R3:7件、R4:3件
13	敬老事業	R2.7月～R3.3月	コロナ禍により中止となった敬老会参加対象者へ商品券等贈呈し敬老を祝うとともに消費喚起を図った。	5,470,782	5,470,782	①報償費1,262,500円(特産品)、消耗品費177,916円(封筒、梱包用品等)、印刷製本費307,428円(商品券作製)、通信運搬費816,938円(郵送代)、交付金2,906,000円(商品券精算) ②新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の実施が困難な中、対象者に町内で利用可能な商品券及び特産品を贈呈することで、感染症拡大の防止に寄与すると共に、消費喚起を図ることができた。 贈呈実績:1,010名
14	児童扶養手当支給事業	R2.8月～R3.2月	収入減など深刻な影響が出ているひとり親世帯に支援金を支給。	550,000	550,000	①児童手当550,000円 (30,000円×15世帯)+(20,000円×第2子以降5人) ②ひとりで子育てと仕事を担うひとり親世帯に対し支援金を支給したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担の一助となった。
15	氷ノ山集客促進事業	R2.7月～10月	事業経営に影響が出ている氷ノ山宿泊施設の支援策として、バーベキュー助成を実施。	13,982,562	13,982,562	①補助金13,982,562円 助成事業13,391,100円、印刷製本事業345,400円(チラシ折込用、チラシ子ども用、チラシ全戸用、ポスター)、手数料196,328円(折込料、チラシ配送料、振込手数料)、雑費49,734円(消耗品等) ②新型コロナウイルスの感染拡大により、深刻な影響を受けている氷ノ山宿泊施設が実施するバーベキューに助成金を支給し、氷ノ山への集客を図ることができた。 支援実績:4店舗 参加者6,969人

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

16	防災対策事業	R2.8月～12月	コロナ禍にあって有事の際避難所へ持ち出せる非常持ち出し品セットを配布し、感染拡大防止を図った。	7,655,043	7,655,043	①消耗品費7,655,043円 非常用持ち出し袋6,061円×1,263世帯 ②有事の際に避難所へ持ち出すことができる衛生用品等のセットを町内全戸へ配布することで、避難所内でのクラスター等、感染拡大の防止を図ることができた。
17	公民館等管理事業	R2.7月～R3.3月	不特定多数の人が出入りする公共空間での感染機会を削減するため、網戸を設置し三密を避け感染拡大予防を図った。	1,203,523	1,203,523	①備品購入費1,203,523円 若桜町公民館、池田分館、生涯学習情報館、町民体育館、若桜学園における網戸 ②施設内での感染対策を実施し、感染拡大予防を図ることができた。 施設内でのクラスター発生件数:0件
18	大学生等学生生活応援事業	R2.6月～R3.3月	親元を離れて生活している若桜町出身の学生が安心して学業に専念できるよう支援。	2,447,904	2,447,904	①交付金1,929,000円(家賃支援34件)、通信運搬費10,724円(郵送代)、報償費508,180円(ふるさと便(特産品)37件) ②新型コロナウイルス感染症の影響により里帰りが困難である状況を考慮し、県外で学業に励む若桜町出身者に対して、家賃支援やふるさと便での支援を行うことができた。
19	学校保健特別対策事業費補助金	R2.4月～R3.3月	学園内の感染拡大防止のため、消毒用消耗品等購入。	2,043,865	1,083,865	①消耗品費1,430,065円(マスク、ペーパータオル、除菌シート等)、備品購入費613,800円(加湿器、空気清浄機等) ②必要物品を購入し、学園内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を図ることができた。
20	公金コンビニ収納業務導入事業	R3.3月～R4.3月	公金のコンビニ・スマホ収納サービスを導入しキャッシュレス化を推進。	13,686,750	13,686,750	①委託料12,540,000円(システム改修費)、印刷製本費928,950円(納付書等製本)、備品購入費217,800円(専用パソコン) ②コロナ禍におけるキャッシュレス決済の推進に寄与し、感染症拡大の防止を図ることができた。
21	若桜鉄道利用者向け スキー場レンタル料割引事業	R2.11月～R3.3月	氷ノ山スキー場でウインタースポーツを楽しむことを目的として若桜鉄道を利用される方へ、スキー板やスノーボード・ウェア等のレンタル料金の一部を助成。また、スキー場までのバス料金を助成。	3,422,050	3,422,050	①助成金3,392,900円(バス運行、ウェアレンタル、スキー等レンタル)、印刷製本費23,100円(降車証明書兼割引券印刷)、手数料6,050円(振込手数料) ②新型コロナウイルス感染症により観光需要が低迷し、集客減少により収益の減少が懸念される中、バス料金やスキー関連料金の一部を助成することにより、誘客促進及び事業経営の安定化に寄与した。 支援実績:6店舗 バス助成1,034人 ウェアレンタル助成536人 スキー等レンタル887人

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

22	介護予防・生活支援サービスの通所事業休止等に伴う事業所支援事業	R2.4月～R3.3月	通所介護事業が事業休止中または利用者の利用控え中に、利用者の健康状態、生活ぶりの確認や利用再開支援等を行う事業者の取組を支援するとともに、収入減となる事業者を支援。	135,000	135,000	①補助金135,000円 ②新型コロナウイルスの影響により介護予防・生活支援サービスの通所事業休止等の影響が出ている中、利用者の健康状態、生活ぶりの確認や利用再開支援等を行う事業者の取組を支援することで、事業の継続実施に寄与した。 交付実績:A事業者45,000円 B事業者90,000円
23	若桜鉄道SNS情報発信事業	R2.8月～R3.3月	SNSを活用したフォトコンテストを実施し、若桜鉄道や沿線観光地・飲食店等のPRや利用促進、誘客に繋げ活性化を図った。	247,400	123,947	①委託料247,400円 委託料247,400円×若桜町持株比率50.1% ②新型コロナウイルス感染症により観光需要が低迷する中で、鉄道及び沿線観光地・飲食店等を撮影スポットとすることで、利用促進、誘客に繋がり沿線地域の活性化を図ることができた。 応募者数:53人
24	若桜鉄道90周年アニバーサリー事業	R2.10月～12月	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ若桜鉄道の利用を回復させるため、アフターコロナ対策としての利用促進イベント等を実施。	859,160	430,439	①委託料430,439円 90周年記念事業運営業務859,160円×50.1% ②新型コロナウイルス感染症により鉄道利用者が低迷する中、利用促進イベントを実施し、集客の増加と事業者の収入確保を図った。
25	広域観光連携事業	R2.9月～R3.3月	「V字回復フェーズ」における地域経済の活性化(観光産業)を目指し、一般社団法人麒麟のまち観光局がコンテンツの磨き上げ、国内外向けプロモーションを実施。	268,000	268,000	①負担金268,000円 ②新型コロナウイルス感染症により観光需要が低迷する中、若桜町内の体験型観光アクティビティをとりまとめ、観光アクティビティ総合サイト「アソビュー」へ掲載しPRすることで、誘客促進を図ることができた。
26	公共施設等環境整備事業	R2.12月～R3.3月	公共施設等に衛生対策関連機器を設置し、感染拡大防止を図った。	14,446,410	14,446,410	①備品購入費14,446,410円 空気清浄機、非接触型温度センサー、非接触アルコール噴出器、卓上パーテーション、パソコン機器、券売機等 ②公共施設等に衛生対策関連機器等の備品を整備し、町有施設内での感染対策を実施できたことから、感染防止を図ることができた。 公共施設内でのクラスター発生件数:0件

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業一覧

(単位:円)

27	就労継続支援事業所通所者に対する給付金支給事業	R2.4月～R3.3月	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている就労継続支援事業所通所者の就労継続と生活の安定を図るため、給付金を支給。	990,000	990,000	①扶助費990,000円 ②就労継続支援事業所通所者特別給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている就労継続支援事業所通所者の就労継続と生活の安定を図ることができた。 支給実績:31人
28	医療機関等感染拡大防止等支援事業	R2.4月～R3.3月	新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診控え等により、事業運営に影響を受けている町内医療機関に対し、必要な地域医療の継続を支援。	4,700,000	4,700,000	①補助金4,700,000円 ②新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診控え等により、事業運営に影響を受けている町内医療機関に対し、補助金を給付することで、必要な地域医療の維持を支援することが出来た。 交付実績:A事業体1,000,000円 B事業体1,000,000円 C事業体1,000,000円 D事業体1,000,000円 E事業体 700,000円
29	介護サービス継続支援事業	R2.4月～R3.3月	介護サービス事業所が必要なサービスを継続して提供することができるよう、事業者が行う感染症対策に要する経費の一部を助成。	6,092,000	6,092,000	①補助金6,092,000円 ②助成金を活用して新型コロナウイルス感染症対策を図り、介護サービス事業所が必要なサービスを継続して提供することができた。 交付実績:A事業体2,508,000円(介護老人福祉施設) B事業体1,574,000円(通所介護、訪問介護、居宅介護支援) C事業体1,478,000円(訪問看護、介護医療院)、 D事業体 532,000円(地域密着型通所介護、居宅介護支援)
30	成人式事業	R2.11月～R3.2月	成人式を開催するにあたり、参加者に事前検査を実施し、感染拡大防止を図った。	415,250	415,250	①手数料355,300円(PCR検査18,700円×19人)、備品購入費59,950円(パーティーション) ②パーティーションの購入、PCR検査を事前に実施することにより、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら成人式を開催することができた。
合 計				218,652,668	207,245,950	